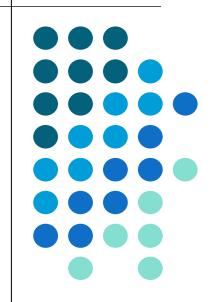
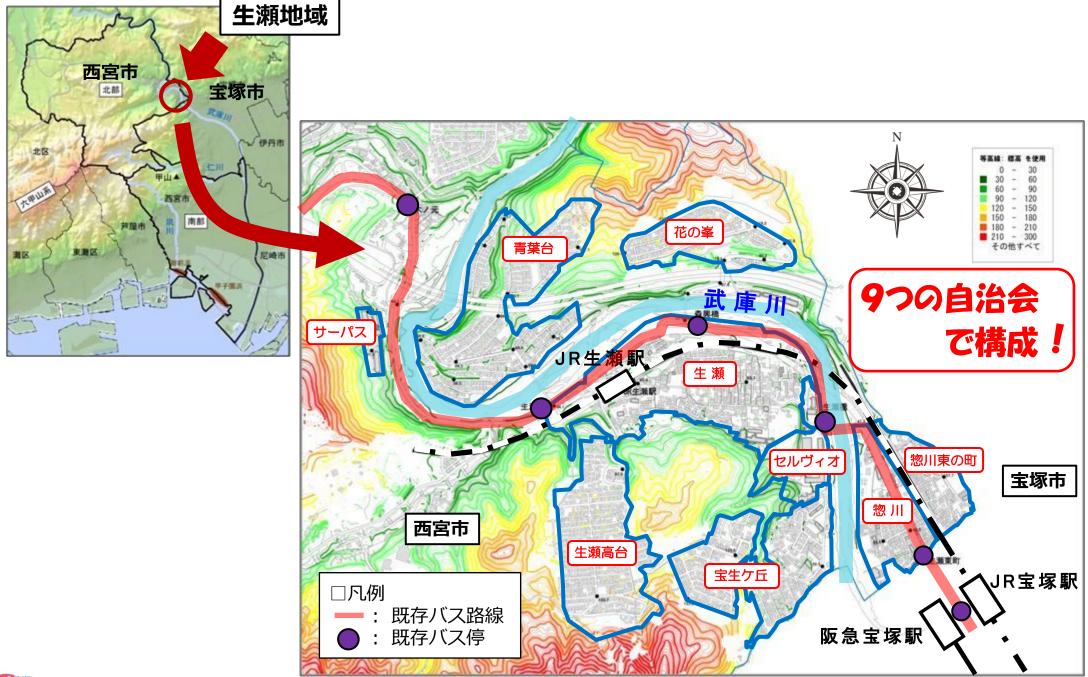
# 「ぐるっと生瀬」の取組みについて



「ぐるっと生瀬」運行協議会阪急タクシー株式会社西宮市交通計画課

## 地理・地形の状況(1)





# 地理・地形の状況(2)



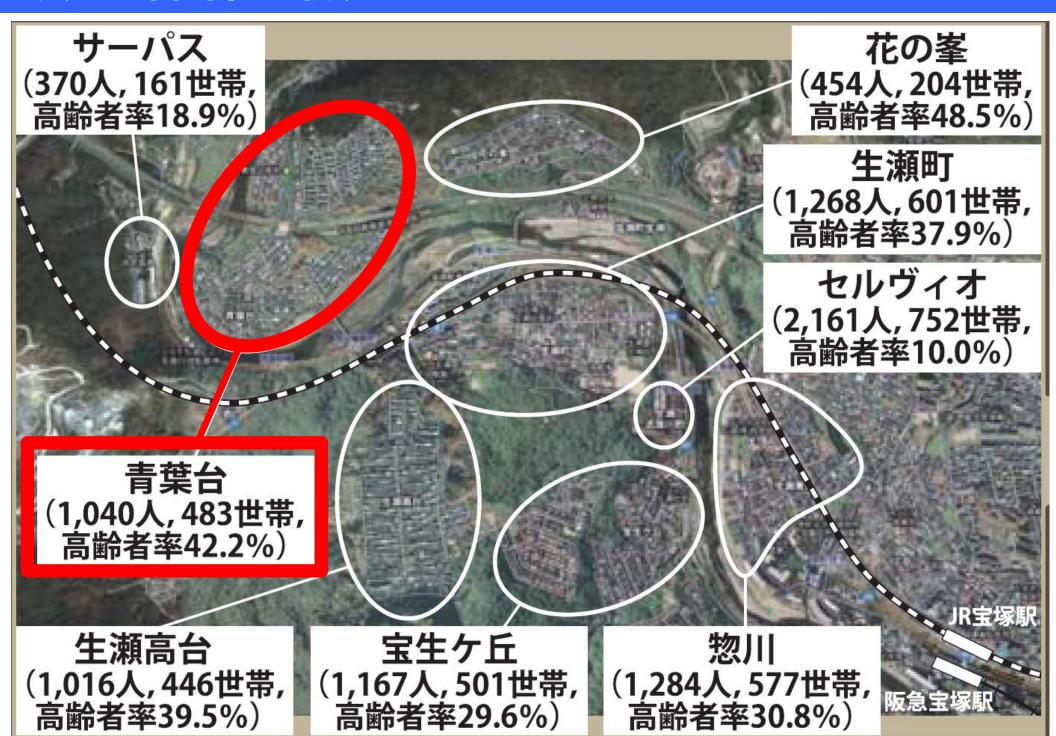








#### 人口・高齢化の状況

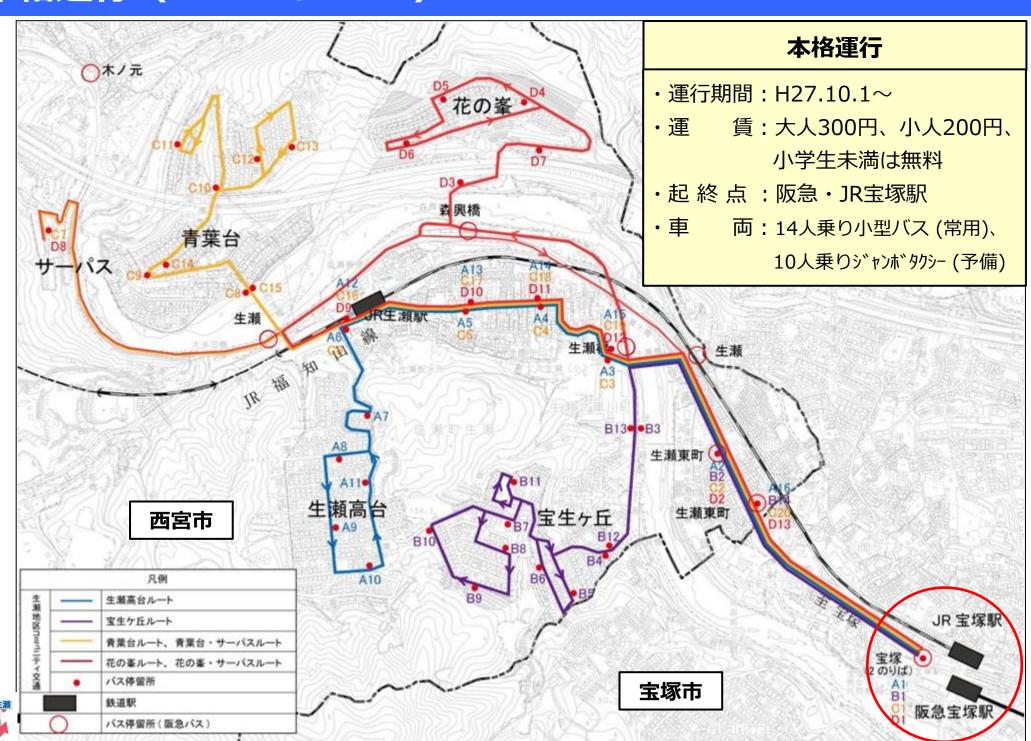


# これまでの取組経過

市に要望書を提出生瀬地区自治会連合協議会が	O H18.10	各自治会	~平成
青葉台において無償の運行を実施	○ H21.1.19 ~4.30	会での活動	22年度
(講師:大阪大学大学院(猪井助教)地域公共交通講演会を開催	〇 10月	地元[	平
諮問会議の発足生瀬住民のお出かけの足を考える	● 12月	協議会の]	成23年
(四日市市「生活バスよっかいち」)先進事例視察	〇 3月	立上げ	=度
無料試験運行	〇 10月		平
自治会毎に座談会を開催(5自治会)	〇 1月	戦制試験 記域の合	成24
(講師:淡路市長沢地区、愛媛県東温市)地域公共交通講演会を開催	〇 2月	美運行 計意形成	l年度
「ぐるっと生瀬」運行協議会(準備会)の	● 4月		
(徳島市「応神ふれあいバス」)先進事例視察	〇 9月	第1回存 地域の2	平成
運行事業者の応募・選定	〇 11月		25年
西宮市都市交通会議に報告	01月		度
第1回有料試験運行	● 3月		
西宮市都市交通会議に報告	〇 9月	・第2 ・事業	<u> </u>
第2回有料試験運行	● 10~ 3月	2回有料 後の採算	P成2
自治会毎に座談会を開催(6自治会)	〇 1~ 3月	斗試験 算性重	6年月
西宮市都市交通会議に報告	3月	運行 視	支
・「ぐるっと生瀬」運行協議会の発足・西宮市都市交通会議で協議・宝塚市地域公共交通会議で協議	● 5月	本格	平成2
国へ申請(道路運送法)	〇 7月	逐行	27年
本格運行	10月~		度



### 本格運行(H27.10.1 ~ )



### 乗車人数

### 目標

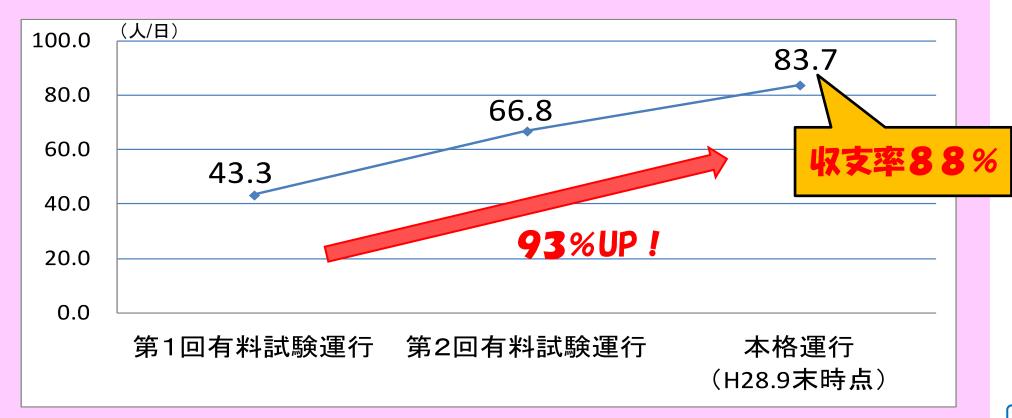
1年目:平均乗車人数70人/日(以上)

2年目:平均乗車人数85人/日(以上)

3年目:平均乗車人数100人/日(以上)~

# 黒字化の 目 安

### 平均乗車人数の推移



### 市の支援

- ・専門家派遣
- ・関係機関との協議/調整
- ・地域公共交通会議の運営
- ・運行に係る費用の助成など

#### 助成内容

(1) 運行損失に対する助成

以下の2つの基準の下、運行損失に対して助成する。

(ア)限度額:600万円/年

(イ)助成率:60%

(2) 車両の購入に対する助成

車両減価償却費(金融費用を含む)を、5箇年に分割して助成する(全額)

(3) バス停留所標識の設置等に対する助成

バス停留所標識のデザイン、製作及び設置に要する費用を助成する(全額)



市(行政)から見た『ぐるっと生瀬』のポイント

- ① 行政に依存しない地域主体の取組み
- ② 『地域活性化』を重点目標に!
- ③ 交通アドバイザーの存在
- 4 地元に根付くための 運行者(阪急タクシー)の体制
- ⑤ 関係機関との円滑な協議